

# 2日間がまるでドラマ

## 『新潟の情報』を発信

司会 今日、本大会にさまざまな立場で参加された皆さんから、感想や意見を聞きたいと思います。まずは全体の感想から。大島 女性の視点が生き生きとした、二日間わたる大会が一つのドラマのように感じました。

杉浦 大会のことを人に聞いている、どなたかやっていると、一般の人がどんなふうな関心を持っているのか興味を持って参加した。私たちの世代では、関心の少ない人が、主催者の皆さんの熱意や会場の参加者の創作劇などに対する賞賛を見て、自分も関わりたいという思いが、生の女性の声を聞いているが、生の女性を聞



～ともにつくる社会 ひろがれウィメンズパワー～

# 日本女性会議'95に

## 女性の自立と

### 座談会



「日本女性会議'95にいがた」は、10月12・13日に全国から2,400人もの参加を得て開催されました。この大会を振り返りながら、これからの取り組みへとつなげていくために、参加者、講師、実行委員の皆さん5人からお話を伺いました。

# 今後の課題

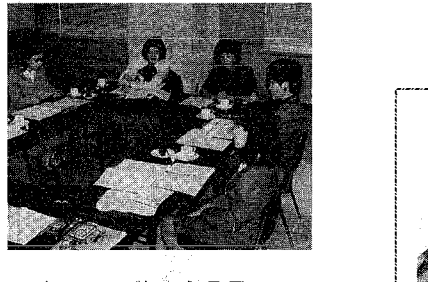
## 男性も参加しやすへ

偏ったところもあり、行っていない人には理解しづらいところも感じた。杉浦 「女性問題は政治問題」という山口さんらの発言は、女性問題は女性だけの問題ではないことを意識するのにも良い言葉だと思

- ### 日本女性会議'95にいがた
- 10月12日
  - ◆第四回世界女性会議報告
  - ◆おんたちの創作劇
  - ◆分科会
  - ◆交流会・アフターパーティー
  - 10月13日
  - ◆分科会報告
  - ◆てい談
  - ◆95にいがたアピール
  - ◆大島市議会報告
  - ◆95にいがたウィーク
  - ◆女性映画祭 (10/6~8)
  - ◆写真展~にいがたの女100年 (10/6~13)
  - ◆パネル展~にいがた女性大会10年のあゆみ (10/6~13)

上で、行政、実行委員会の共催など、いろいろな難しさがあつた。実行委員会は20人を超え、大所帯で、マネージャーシップもあつた。大きな上、平等を前提とした組織は、難儀な面、良いものもあつた。実行委員長に選ばれたのは、使い減りしない年齢だ。私が行った中で、一番難儀、経験ができたと思

感動の涙も 彼、家族問題と気が付く入り口が必要だといふことになった。大島 役者がそつてましたね(笑)



一般参加者 大島麻美子さん

分科会 政策決定へ参画を 私のベットの時間は語られてきた。基本的な女性権であるはずのセクシュアリティが人権、自立に結び付かないでいるのが現状。運営に当たった実行委員の人たちは三十歳代の人が多かったが、彼らは私たちがどう生きるかを考えた。まともな生活は、若い時から自立した生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。

分科会 政策決定へ参画を 私のベットの時間は語られてきた。基本的な女性権であるはずのセクシュアリティが人権、自立に結び付かないでいるのが現状。運営に当たった実行委員の人たちは三十歳代の人が多かったが、彼らは私たちがどう生きるかを考えた。まともな生活は、若い時から自立した生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。



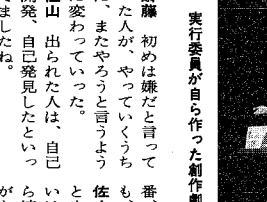
第3分科会・問題提起者 長原純子さん



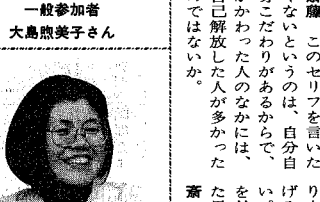
実行委員会委員長 斎藤良子さん

変わらなければならぬ。間にも、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。大島 私自身も、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。大島 私自身も、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。

男女共生社会のモデルに 日本女性会議は特別な人たち、特別なことをやっている、特別な意識がある、特別なことをやっている、特別な意識がある、特別なことをやっている、特別な意識がある。



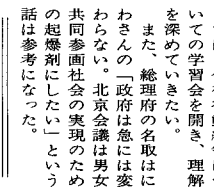
一般参加者 杉浦アキコさん



第4分科会・講師 佐山光子さん

分科会 政策決定へ参画を 私のベットの時間は語られてきた。基本的な女性権であるはずのセクシュアリティが人権、自立に結び付かないでいるのが現状。運営に当たった実行委員の人たちは三十歳代の人が多かったが、彼らは私たちがどう生きるかを考えた。まともな生活は、若い時から自立した生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。

分科会 政策決定へ参画を 私のベットの時間は語られてきた。基本的な女性権であるはずのセクシュアリティが人権、自立に結び付かないでいるのが現状。運営に当たった実行委員の人たちは三十歳代の人が多かったが、彼らは私たちがどう生きるかを考えた。まともな生活は、若い時から自立した生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。まともな生活を送るべきだ。



司会 大島高子さん

また、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。大島 私自身も、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。大島 私自身も、男性自身のパワーを伸ばす必要がある。

男女共生社会のモデルに 日本女性会議は特別な人たち、特別なことをやっている、特別な意識がある、特別なことをやっている、特別な意識がある、特別なことをやっている、特別な意識がある。

### 1. "北京会議"からのメッセージ

#### 自治体に行動計画を

### 2. 農業と女性

#### 新3Kの農業へ

### 3. どう生きますか? 高齢社会

#### 高齢社会は人間のチャンス

### 4. 性(セクシュアリティ)・人権・自己決定

#### 自分の体をありのままに

### 5. 踏みだせ いち/に/参画

#### 議員へのロビー活動も

### 6. My Road My 労働

#### 女性のための窓口設置を

### 7. 男女共生社会はまず教育から

#### 男女平等教育の手引書も

日本の私たちが含むアジアの女が大きな力となる。そのため、次は、貧困とそれに深くつながる。①身の周りや地域にある問題の解決に向け行動し、地道に継続して。②自治体に行動計画を生かした行動計画を作るよう強力に働きかけ。③NGO・国とも地球規模のパートナリシップを組むことが問題解決につながるという認識で行動す。

農業という職業に女性が誇りをもち、生き生きと輝くために、常委員との意見交換などの日常活動に問題意識を持ち前に進んでいくことが大切である。①労働力の提供から経営にも積極的に関与し、経営の力を高める。②地域や農業を担う女性が、男性よりも後押しされるよう、農業者、家庭人となるよう努める。

高齢者介護の問題に加え、分科会では高齢者自身の人権や生き方について意識を高めていくことが重要である。①意識や制度を変えていく。②子育て世代から介護を担う世代、子育て世代から介護を担う世代。③また、樋口恵子さんからは、高齢化は、やがて全世界に波及する大きな変革。人類がチャレンジするに値する問題であり、人類がより良い社会を作る絶好のチャンスと講演があった。

市民活動と政策決定の場への参画が、どうして必要なのか、どう行動すれば良いか、具体的な方策について話し合った。①市民活動の参画で、資金の問題や社会的認知の問題で活動が広がらないのは、ネットワーク作りが必要という声が多かった。②市民活動NGOが社会を変えたいという思いで、政策決定の場へ参画したいという声も多かった。③市民活動NGOが社会を変えたいという思いで、政策決定の場へ参画したいという声も多かった。

「女性の労働が正当に評価されるために」とい、視点から問題提起の後、「パート労働と新形保障」の切り分け、「働くことと社会保険」の生活権の保障された働き方」という三本の柱で話し合った。①性別役割分業にとらわれない働き方を、労働者と雇い主が選択できる。②ILO百五十六号条約を有効に活用する。③ILO百五十六号条約を有効に活用する。

学校教育における教員の男女平等教育に対する意識改革と、家庭における親の平等意識の改革について話し合った。①男女平等教育の推進。②男女平等教育の推進。③男女平等教育の推進。

# 分科会報告